阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	ー	1	基本事務事業名	吉野中央公民館企画運営事業	事務事業名	子ども教室事業	公的関与	6	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文				

事業区分			事業運営方法	
◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他	☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画			実施計画	事業の開始・終了	
	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり			
	基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☐ 期間設定なし
	主要施策	(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供	○ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		吉野地区内の小学校児童、保護者他
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	いろいろなことを体験し、教育文化、生活文化の振興、及び仲間づくりとしての連帯感の意識高揚を図ります。
	今年度	

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 本・紙芝居の読み聞かせは、吉野地区内の保育所・幼稚園・小学校で行い、興味や関心、言葉の持つ意味、あるいは内容などを通して仲間づくりなど教育文化の振興を図ります。
	②
	③
	④
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
	読み聞かせ参加者数	10人×12月＝120	人	目標	120	120	120	
				実績	42	84		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源	60	千円	60	千円	70	千円	
	計(A)	60	千円	60	千円	70	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.011 人	20 千円	0.110 人	198 千円	0.110 人	198 千円	
全体事業費(A＋B)			80 千円		258 千円		268 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	自己の教養を高めたり、お互いに切磋琢磨したりして、教育文化の振興を図る面から見れば、十分必要性があります。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	幅広い年齢層が集い、交流を深め、憩いの場になっているなど、成果はあります。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		積極的に研修を重ね参加率も高いので活動も目標は、達成できています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	少ない予算内での活動、また費用の一部は個人負担であることなど、効率的は良いです。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	子ども教室事業を推進するため、今後とも活動範囲を広めさらに参加者を増やしていきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 事業内容について、マンネリ化しないよう検討しながら進めてください。				
改革案と実行計画	限られた予算で活動しているため、効率よく計画して進めます。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	ー	2	基本事務事業名	吉野中央公民館生活文化振興事業	事務事業名	各種団体の育成	公的関与	9	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文		

事業区分			事業運営方法	
◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他	☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画			実施計画	事業の開始・終了	
	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり			
	基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☐ 期間設定なし
	主要施策	(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供	○ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		阿波市民、各クラブ団体他
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	阿波市民、各団体等の活動を通して親睦・交流を深め、生活文化の向上を図ります。
	今年度	

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 茶道教室は、毎月3回開催し、市民に方々の作法・教育等の向上を図ります。
② 囲碁の集いは、毎週火曜日に開催し、囲碁を通じて親睦・交流を深めます。
③ トールペイントは、月1回の開催ですが、作品を通して親睦・交流を深めます。
④ パッチワーク教室は、毎月2回開催し、作品を通じて親睦・交流を深めます。
⑤ 阿波市婦人団体連合会・吉野消費者協会等は、ボランティア活動等を通して親睦・交流を深め、生活文化の振興を図ります。

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
茶道教室	毎月3回×7×12月＝252人	人	目標	150	252	252	
			実績	276	288		
囲碁の集い	毎月4回×10×12月＝480人	人	目標	640	480	480	
			実績	485	480		
トールペイント	毎月1回×5×12月＝60人	人	目標	100	60	60	
			実績	43	58		

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	70 千円	60 千円	60 千円	
	計(A)	70 千円	60 千円	60 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員	公民館指導員	公民館指導員	
	臨時・嘱託工数・経費	0.510 人　918 千円	0.510 人　918 千円	0.510 人　918 千円	
全体事業費(A＋B)		988 千円	978 千円	978 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	市民の方々の作法・教養等を高めたり、親睦や交流を深めたりする場であることから、必要性があります。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	趣味の活動、各種会合や研修等に利用され、市民が積極的に参加しているので、有効性は高いです。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		趣味の活動、各種会合や研修等に利用され、市民が積極的に参加しているので、有効性は高いです。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	限られた予算内での活動でありますが、一部個人負担していることですし、効率性は高いです。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	子ども教室事業を推進するため、今後とも活動範囲を広めさらに参加者を増やしていきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 継続して実施し、市民への周知をしてください。				
改革案と実行計画	限られた予算で活動しているため、効率よく計画して進めます。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

PLAN	No. 40 ー 3	基本事務事業名	吉野中央公民館施設管理事業	事務事業名	公民館施設管理事業	公的関与	6	シート作成日	平成29年6月15日
	部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文	
	事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	◉ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☐ 期間設定なし			
		主要施策	(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化	○ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市民						
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	地域生涯学習の拠点として、利用者が安全で快適に活動できるように維持管理を図ります。					
			今年度						
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 消防設備の点検							
		② 電気の保安業務							
		③							
		④							
		⑤							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
	開館日数	年間日数359日	日	目標	359	359	359	
				実績	359	359		
	利用者団体数	茶道教室他18	クラブ数	目標	18	18	18	
				実績	18	18		
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		1,956 千円		2,157 千円		2,135 千円	
	計(A)		1,956 千円		2,157 千円		2,135 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.280 人	504 千円	0.280 人	504 千円	0.280 人	504 千円	
全体事業費(A＋B)			2,460 千円		2,661 千円		2,639 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	地域の方が、積極的に利用しているため、必要性は十分にあります。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	各種団体が有効に利用しています。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		クラブ数が少ないので、新規のクラブが結成されるよう、呼びかけていきます。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	利用しやすい公民館となるよう、施設の設備の見直し、維持管理、効率性を高めていきたいです。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	施設の老朽化が進んでいるため、整備が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 合理的・効率的な運営、また、施設の長寿命化に向けた維持管理を目指した取組を進めてください。				
改革案と実行計画	地域住民の方が今以上に利用しやすい公民館として、予算内で維持管理を図ります。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

PLAN	No. 40 ー 4	基本事務事業名	吉野柿原公民館施設管理事業	事務事業名	公民館施設管理事業	公的関与	6	シート作成日	平成29年6月15日
	部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文	
	事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	□ 1 直営	□ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	◉ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☑ 2 一部委託	□ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	□ 期間設定なし			
		主要施策	(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化	○ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市民(吉野町柿原地区)						
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	地域生涯学習の拠点として、利用者が安全で快適に活動できるように維持管理を図ります。					
			今年度						
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 公民館施設使用の許可							
		② 公民館での社会教育・生涯学習関連情報の提供							
		③ 施設の維持管理							
		④							
		⑤							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
	利用人数	公民館の使用頻度の指標として	人	目標	800	800	800	
				実績	600	620		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	120 千円	120 千円	120 千円	
	一般財源	525 千円	529 千円	637 千円	
	計(A)	645 千円	649 千円	757 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員	公民館指導員	公民館指導員	
	臨時・嘱託工数・経費	0.250 人　450 千円	0.250 人　450 千円	0.250 人　450 千円	
全体事業費(A＋B)		1,095 千円	1,099 千円	1,207 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	社会教育法に基ずく公民館として、地域住民の方々が集う場所、また生涯学習活動の拠点として必要です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	利用者があまり多くなく、固定化しつつあるため、地域住民の方々が気軽に利用できる施設として、周知等行う必要があります。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		上記と同様、利用率を向上させるか、考慮する必要があります。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	効率性が良いとは言えませんが、現在の運営方法でのコストとしては維持管理のみであるため、削減は困難です。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	地域住民の方々が気軽に集える施設として、利用の推進が必要です。老朽化も進んでおり整備が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 合理的・効率的な運営、また、施設の長寿命化に向けた維持管理を目指した取組を進めてください。				
改革案と実行計画	施設の利用率向上を図ります。また市全体の公民館として、運営方法の見直しも行う必要があります。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	ー	5	基本事務事業名	八幡公民館企画運営事業	事務事業名	三世代ふれあい事業	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文				

PLAN

事業区分				事業運営方法	
◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援		☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画		実施計画	事業の開始・終了
基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり		
基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	○ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年 ☐ 期間設定なし
主要施策	(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供	◉ 2 非該当	根拠法令等：社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		八幡老人クラブ・ヘルスメイト・八幡小学校6年生児童
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	三世代が一緒にひな祭り料理を作り、健康講座や演劇を開催し、お節句と卒業を祝い、人との出会い体験学習を実施します。
	今年度	

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 栄養士による栄養指導
② 三世代間ふれあい調理実習
③ 健康講座
④ 小学校6年生児童による芸能発表会
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
三世代ふれあい料理教室参加者数	1回	人	目標	60	50	50	
			実績	43	50		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	64 千円	53 千円	98 千円	
	計(A)	64 千円	53 千円	98 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員	公民館指導員	公民館指導員	
	臨時・嘱託工数・経費	0.250 人　450 千円	0.250 人　450 千円	0.250 人　450 千円	
全体事業費(A＋B)		514 千円	503 千円	548 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	少子高齢化・核家族化している現在、高齢者・ヘルスメイト・児童が一同に集い料理作りをとおして世代間の違う人達とふれあいを深める事業として必要性は高いです。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	お節句と児童の卒業を祝う行事として地域の人達にも事業が定着しており、三世代間の学習の一環として有効性高いです。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		参加者には大変好評を得ています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	経費面から見ても活動内容も充実し効率性は高いです。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	事業がマンネリ化しないように、充実したプログラムの企画に努めます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 多くの市民に定着できるよう工夫をしてください。				
改革案と実行計画	三世代ふれあい事業として、地域に根づいており、時代にマッチした企画運営をしていきます。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	ー	6	基本事務事業名	八幡公民館企画運営事業	事務事業名	地域ふれあい事業	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文				

PLAN

事業区分				事業運営方法	
◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援		☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画		実施計画	事業の開始・終了
基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり		
基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年 ☐ 期間設定なし
主要施策	(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供	○ 2 非該当	根拠法令等：社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		八幡老人クラブ会員・八幡認定子ども園児
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	少子高齢化の中で幅広い年齢層に、体験学習や発表会の機会を提供してふれあいを深めていきます。
	今年度	

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 八幡認定子ども園児と高齢者とのふれあい交流会
② 八幡認定子ども園児と高齢者とのふれあい体験事業(ミニ運動会・クリスマス会)
③ 八幡認定子ども園児と高齢者との交通安全キャンペン
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
ふれあい交流会	2回　25人×2	人	目標	70	50	50	
			実績	45	60		
ふれあい体験事業	2回 60人	人	目標	280	120	120	
			実績	120	124		
交通安全キャンペーン	1回　40人	人	目標	50	40	40	
			実績	51	50		

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	
	計(A)	0	千円	0	千円	0	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.230 人	414 千円	0.230 人	414 千円	0.230 人	414 千円	
全体事業費(A＋B)			414 千円		414 千円		414 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	少子高齢化している中、異世代間との交流は、ふれあいを深める事業として必要です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	事業内容も豊富であり、児童と地域の人達との和を広げる事業として有効性は高いです。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		参加者には大変好評を得ています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	経費面から見ても活動内容も充実し効率性は高いです。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	4	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	事業がマンネリ化しないように、事業内容を工夫し地域に密着した事業の展開となるよに企画に努めます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 今後、少子高齢化がますます進行することが予想されます。ニーズに合った企画を心がけてください。				
改革案と実行計画	地域住民の学習課題や学習ニーズも益々多様化し高度化していることから、これらに対応する新しい時代にマッチした内容に努めていきます。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	ー	7	基本事務事業名	八幡公民館生活文化振興事業	事務事業名	各種団体の育成	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文				

PLAN

事業区分			事業運営方法	
◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	☐ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他	☐ 2 一部委託	☑ 4 補助等

総合計画			実施計画	事業の開始・終了	
	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり			
	基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(6)関係団体の育成	○ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		市内住民(一定区域内)
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	老人クラブ・婦人会・各種講座等に積極的に参加し、教養の増進、生活文化の振興、社会福祉の向上のために自主的活動ができる補助をします。
	今年度	

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 成人講座(歴史に関する研究会)
② 八幡老人クラブ育成事業(高齢者講座、スポーツ活動、交通安全事業、地域こども見守り隊事業、奉仕作業等)
③ 八幡婦人会育成事業(健康講座・料理教室・ボランティア活動・日赤奉仕団体活動等)
④ 各種趣味クラブの連絡、調整(詩吟・カラオケ・生け花・パッチワーク・ちぎり絵・阿波踊り体操等)
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
成人講座参加者数	5回　15人	人	目標	90	90	75	
			実績	90	75		
老人クラブ事業参加者数	25回　20人	人	目標	600	500	500	
			実績	428	440		
各種趣味クラブ参加者数	13団体　50人	人	目標	600	600	600	
			実績	580	570		

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	50 千円	50 千円	80 千円	
	計(A)	50 千円	50 千円	80 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員	公民館指導員	公民館指導員	
	臨時・嘱託工数・経費	0.460 人　828 千円	0.460 人　828 千円	0.460 人　828 千円	
全体事業費(A＋B)		878 千円	878 千円	908 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	地域づくり、仲間づくり、生活文化づくりの拠点として、主体的、自主的に参加、活動できる事業として必要性は高まっています。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	各種団体が自主的に各種事業を企画し、活動内容も豊富であり、活発に活動しており有効性は高いです。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		地域の人達の輪が広がっており利用者も多く、十分達成しています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	利用者数、団体数も多く、効率よく活動されています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		◉ ある	○ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	年々経費も削減される中、活動は活発であり利用者のニーズ、また新しいクラブにも対応する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 活動の支援と自主運営指導を進めてください。				
改革案と実行計画	限られた経費内で、現在の活動が維持できるように対応する必要があります。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	ー	8	基本事務事業名	八幡公民館施設管理事業	事務事業名	公民館施設管理事業	公的関与	6	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文				

PLAN

事業区分				事業運営方法	
◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援		☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画		実施計画	事業の開始・終了
基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり		
基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年 ☑ 期間設定なし
主要施策	(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供	○ 2 非該当	根拠法令等：社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		市内住民
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	地域生涯学習の拠点として、利用者が安全で快適に活動できるように維持管理を図ります。
	今年度	

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 公民館貸出の連絡調整事務
② 消防設備の点検業務
③ 浄化槽の清掃点検業務
④ 公民館の全館清掃業務
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
開館日数	年間359日	日	目標	359	359	359	
			実績	359	359		
利用団体数	阿波踊り体操　他17	クラブ数	目標	18	18	18	
			実績	13	13		
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円	5	千円	
	一般財源	1,607	千円	1,230	千円	4,641	千円	
	計(A)	1,607	千円	1,230	千円	4,646	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.280 人	504 千円	0.280 人	504 千円	0.280 人	504 千円	
全体事業費(A＋B)			2,111 千円		1,734 千円		5,150 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	地域に密着した施設であり、地域住民にとってはなくてはならない存在です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	各種団体、クラブの自主事業等活動は活発であり有効性は高いです。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		年間を通じ使用があるので目標達成は高いです。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	市内の同じ地域をまとめて、委託契約や公民館綜合補償契約をし、経費の節約に努め維持管理をしており有効性は高いです。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	利用者が快適に利用できるように維持管理していきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	地域に密着した施設であるため統合・縮小しない限り、現状維持が好ましいです。					合理的・効率的な運営、また、施設の長寿命化に向けた維持管理を目指した取組を進めてください。				
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	―	9	基本事務事業名	市場公民館企画運営事業	事務事業名	文化ふれあいフォーラム	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文				

PLAN

事業区分				事業運営方法	
◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援		☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画		実施計画	事業の開始・終了
基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり		
基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年 ☑ 期間設定なし
主要施策	(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供	○ 2 非該当	根拠法令等：社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)	市民	
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	文化活動を通して、明るいまちづくりに貢献します。
	今年度	住民が交流し、文化を深め心豊かな人づくりの機会を提供します。

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 講師を招いて実技・講習会の開催(年5回)
② 受講生募集方法は、広報阿波やACN等を利用
③ 材料費は、受講生が全額負担
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
参加者数	20回×20人	人	目標		400	400	
			実績		320		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		千円		千円		千円	
	計(A)		0 千円		0 千円		0 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.100 人	180 千円	0.100 人	180 千円	
全体事業費(A＋B)			0 千円		180 千円		180 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	仲間づくりの交流の場の確保を図る面から必要性は高まっています。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	地域の人達にこの事業が定着しており、実技講習会の内容も豊富であり有効性は高いです。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		参加者の人達の輪が広がっており参加希望も多く、十分達成できています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	経費面から見ても参加率も高く、材料費は参加者負担であり効率性は高いです。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	事業がマンネリ化しないように事業内容を工夫し地域に密着した事業の展開となるような企画に努めていきたいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 活動の支援と自主運営指導を進めてください。				
改革案と実行計画	市民と行政が一体化を図り、幅広い分野にわたり(歴史・経済等)学習内容を充実、市民交流スペースを活用しポスター等の展示や啓発に努めます。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

PLAN	No. 40 ー 10	基本事務事業名	市場公民館企画運営事業	事務事業名	押し花アート教室	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月15日
	部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文	
	事業区分	◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし			
		主要施策	(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供	○ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民						
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	押し花アートを通して、住民の交流と心豊かな人づくりの機会を提供し、ふれあいを深めていきます。					
			今年度	ガーデニング教室に変わり、押し花アートをするので新鮮味あふれる心豊かな人づくりの機会を提供し、ふれあいを深めていきます。					
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 講師を招いて実技・講習会の開催(年6回)							
		② 受講生募集方法は、広報阿波やACN等を利用							
		③ 材料費は、受講生が全額負担							
		④							
		⑤							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
	参加者数	6回×15人	人	目標	60	60	90	
				実績	57	0		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		30 千円		0 千円		30 千円	
	計(A)		30 千円		0 千円		30 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.450 人	810 千円	0.350 人	630 千円	0.350 人	630 千円	
全体事業費(A＋B)			840 千円		630 千円		660 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	環境美化や地域づくり、仲間づくりの交流の場の確保を図る面から必要性は高まっています。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	地域の人達にこの事業が定着できるようにし、実技講習会の内容も充実であり有効性は高いです。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		参加者の人達の輪を広めて、参加希望も多く、十分達成できています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	経費面から見ても参加率も高く、材料費は参加者負担であり効率性は高いです。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	事業内容を工夫し地域に密着した事業の展開となるような企画に努めていきたいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 活動の支援と自主運営指導を進めてください。				
改革案と実行計画	新しい時代にマッチした事業内容の充実に努めていきます。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	ー	11	基本事務事業名	市場公民館生活文化振興事業	事務事業名	各種団体の育成	公的関与	9	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会		課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文			

PLAN

事業区分			事業運営方法	
◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	☐ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他	☐ 2 一部委託	☑ 4 補助等

総合計画			実施計画	事業の開始・終了	
	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり			
	基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(6)関係団体の育成	○ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		市内住民(一定区域内)
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	市民の教養の向上、生活文化の振興、健康増進、社会福祉の向上のための自主活動ができる補助をします。
	今年度	

事業の活動内容
具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
① 老人クラブ育成事業
② 各種講座
③ スポーツ活動事業(ゲートボール・グラウンドゴルフ・デイスコン)
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
	老人クラブ参加者数	15回×20人	人	目標	300	300	300	
				実績	280	285		
	婦人会参加者数	3回×10人、 1回×30人	人	目標	60	60	60	
				実績	40	48		
	各種講座参加者数	9団体×30人	人	目標	270	270	270	
				実績	250	250		

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成　27　年度決算		平成　28　年度決算		平成　29　年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源	150	千円	140	千円	160	千円	
	計(A)	150	千円	140	千円	160	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.430 人	774 千円	0.430 人	774 千円	0.430 人	774 千円	
全体事業費(A＋B)		924	千円	914	千円	934	千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	仲間づくり、生活文化づくりの拠点として、主体的・自習的に参加し活動できる事業であり公民館に対するニーズは高く必要性は高いです。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	各種団体がマンネリ化しないように事業の企画を補助し貢献度は高いです。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		地域住民の輪が広がりつつあり参加者も増えており十分達成いています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	活動内容も活発であり利用者数も多く効率よく活動しています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		◉ ある	○ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	活動は活発であり利用者のニーズも高まっている中、充実度を高めつつ各種団体が自立した活動ができるように向けていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 活動の支援と自主運営指導を進めてください。				
改革案と実行計画	限られた経費内で、他の公民館との調整を図りながら現在の活動が維持できるように対応していく必要があります。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No. 40 ー 12	基本事務事業名	市場公民館施設管理事業	事務事業名	公民館施設管理事業	公的関与	6	シート作成日 平成29年6月15日
部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文

PLAN

事業区分	◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営　☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託　☐ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり	実施計画	事業の開始・終了	
	基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化	○ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市内住民
	目的(どういう状態にしたいのか) 最終的	地域生涯学習の拠点として、利用者が安全で快適に活動できるように維持管理を図ります。
	今年度	

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 公民館貸出の連絡調整事務
	② 電気の業務
	③ 消防施設の点検業務
	④ 浄化槽の清掃点検業務
	⑤ 館内外清掃業務

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
開館日数	年間359日	日	目標	359	359	359	
			実績	359	359		
利用者団体数	生花クラブ他6	クラブ数	目標	10	10	10	
			実績	7	7		
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円	5	千円	
	一般財源	568	千円	417	千円	449	千円	
	計(A)	568	千円	417	千円	454	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.250 人	450 千円	0.250 人	450 千円	0.250 人	450 千円	
全体事業費(A＋B)			1,018 千円		867 千円		904 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	研修会・学習会・発表会等公共的利用の施設として提供しており利用者も多く必要性は高いです。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	趣味クラブ等の利用が自主的に運営されているため有効性は高いです、	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		地域の各団体の会議等の利用や市趣味クラブの活動に利用され十分達成されています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	公民館綜合補償契約を市内の他公民館と一括契約することで割安に加入したり、経費の削減に努めることにより効率的に管理されています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	利用者が安全・快適に活用できるように、備品等が古くなっているので整備が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	管理運営上、施設内外の改善の必要があります。					合理的・効率的な運営、また、施設の長寿命化に向けた維持管理を目指した取組を進めてください。				
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	―	13	基本事務事業名	大俣公民館企画運営事業	事務事業名	自然観察会	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文				

PLAN

事業区分				事業運営方法	
◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援		☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画		実施計画	事業の開始・終了
基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり		
基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年 ☑ 期間設定なし
主要施策	(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供	○ 2 非該当	根拠法令等：社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		市内小学生・保護者
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	親子で自然にふれあい、自然の中で発見や感動をかんじてもらい、観察会を通じ自然を大切にする心を養うことで自然環境の保全を図ります。
	今年度	

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 4月に各小学校に会員募集の用紙を配布し募集を行います。
② 親子で参加する事業です。(休日に開催)
③ ホタル・クモ・水生昆虫等の観察をしています。」
④ その内1回は、バスを借り上げて(剣山の動植物・海辺の植物、生き物)観察会も実施しています。
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
自然観察会参加数	40人×6回	人	目標	240	240	240	
			実績	144	223		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	3 千円	千円	
	一般財源	125 千円	144 千円	173 千円	
	計(A)	125 千円	147 千円	173 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員	公民館指導員	公民館指導員	
	臨時・嘱託工数・経費	0.330 人　594 千円	0.330 人　594 千円	0.330 人　594 千円	
全体事業費(A＋B)		719 千円	741 千円	767 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	子供のころから自然や生き物を大切にする心を養うことで情操教育に役立っています。また、自然あふれる阿波市の再発見ができています。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	参加者においては、自然の大切さが認識されて、意識改革ができています	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		参加者も多く、親子で自然環境を保全して自然との共生を図るため活動目的は、達成できています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	体験活動を通じ自然保護の自覚を各自がもつことで、効率性を計りしれないものがあります。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	予算削減のなかでどのように効率よく計画を立て活動していくか考える必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 自然観察会は、参加者に正確な情報が伝達できるか、また参加者が自然環境に対して認識や興味を持ってもらい、いかに継続して活動してもらえるが重要です。				
改革案と実行計画	参加者に人気があるものを計画しています。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	―	14	基本事務事業名	大俣公民館生活文化振興事業	事務事業名	各種団体の育成	公的関与	9	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会		課名	公民館		主務課長名	坂東　孝一			シート作成者名	長瀬　和文

PLAN

事業区分			事業運営方法	
◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他	☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画			実施計画	事業の開始・終了	
	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり			
	基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供	○ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		市内(大俣区域内住民)
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	各種の学習を通じ、文化向上を目指し生活向上ができるよう取り組みを図ります。
	今年度	

事業の活動内容
具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
① 老人クラブ(奉仕活動・スポーツ活動)
② 婦人会(防災訓練への参加)
③ 各種講座(舞踊・詩吟・生花・カラオケ・大正琴・読書会)
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
	老人クラブ参加者数	20人×30回	人	目標	500	600	600	
				実績	743	494		
	婦人会参加者数	200人×1回	人	目標	300	200	200	
				実績	270	220		
	各種講座参加者数	8団体×12人×12回	人	目標	1200	1200	1200	
				実績	1183	1160		

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源	30	千円	35	千円	40	千円	
	計(A)	30	千円	35	千円	40	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.310 人	558 千円	0.310 人	558 千円	0.310 人	558 千円	
全体事業費(A＋B)			588 千円		593 千円		598 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	地域づくりに欠かせない団体です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	住民が参加できる場所の提供をし学習の機会を与えています。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		参加者には、毎回好評ですので十分達成されています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	予算的には、低いが各事業効率よく回転しています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

		二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	老人クラブは、高齢化が進む中65歳から70歳までの新規会員を獲得し若返りを図る必要があります。婦人会活動では、活動しやすい場の提供をしていきます。また、各種講座は利用者の固定化がみられるので幅を広げていきたいです。	各種団体との連携をとり、今後も参加しやすい企画運営に心がけてください。
改革案と実行計画	生涯学習の観点から、地域に根ざした活動が展開され、誰でも気軽に利用できる場所づくりを目指します。	
委員会指摘事項		

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	ー	15	基本事務事業名	大俣公民館施設管理事業	事務事業名	公民館施設管理事業	公的関与	6	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会		課名	公民館		主務課長名	坂東　孝一			シート作成者名	長瀬　和文

PLAN

事業区分				事業運営方法	
○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援		☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	◉ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画			実施計画	事業の開始・終了	
	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり			
	基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	○ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化	◉ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		市内(大俣区域内住民)
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	地域生涯学習の拠点として、利用者が安全で快適に活動できるように維持管理を図ります。
	今年度	地域生涯学習の拠点として、利用者が安全で快適に活動できるように維持管理を図ります。(本村分館の防水改修工事)

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 施設維持管理(電気設備・消防設備・浄化槽の保守点検及び清掃)
② 施設運営(日常の公民館の貸し出し業務)
③
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
開館日数	年間日数(年末年始を除く)	日	目標	359	359	359	
			実績	359	359		
利用団体(定期利用)	クラブ数　(7)	数	目標	375	370	370	
			実績	356	350		
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源	17	千円	95	千円	5	千円	
	一般財源	2,133	千円	6,820	千円	2,078	千円	
	計(A)	2,150	千円	6,915	千円	2,083	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.280 人	504 千円	0.280 人	504 千円	0.280 人	504 千円	
全体事業費(A＋B)		2,654	千円	7,419	千円	2,587	千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	地域住民の活動拠点としてなくてはならない存在です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	各々のクラブ等がニーズに合わせて利用しているので有効性はあります。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		年間を通じ利用されています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	ほぼ毎日施設が利用されて効率性は大であります。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	館も老朽化しており、設備等を充実していきたいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 合理的・効率的な運営、また、施設の長寿命化に向けた維持管理を目指した取組を進めてください。				
改革案と実行計画	避難場所に指定されている為、施設の耐震診断を早急に実施したい。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

PLAN	No. 40 ー 16	基本事務事業名	大俣公民館企画運営事業	事務事業名	大俣高齢者教室	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月15日
	部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文	
	事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	◉ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし			
		主要施策	(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供	○ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市内(大俣区域内高齢者)						
		目的(どういう状態にしたいのか) 最終的	高齢者が生きがいを持ちながら元気で生き生きと過ごせるための学習の場の提供を図ります。						
		今年度							
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 幼稚園・保育所園児とのふれあい事業							
		② 小学校児童との交流事業							
		③ 健康推進事業							
		④ 交通安全教室							
		⑤							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
	高齢者教室参加数	15人×7回	人	目標	180	105	105	
				実績	85	90		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	千円	千円	千円	
	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員	公民館指導員	公民館指導員	
	臨時・嘱託工数・経費	0.230 人　414 千円	0.230 人　414 千円	0.230 人　414 千円	
全体事業費(A＋B)		414 千円	414 千円	414 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	高齢化が進む中、高齢者にとって生きがいづくりの一つとして、学習の場を提供することは、重要であります。	○ 少ない	● 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある		○ ない	● ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない		○ いる	● いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	長寿社会を迎えている今日、元気で活動できることが大切なので、有効性は高いものがあります。	○ いえない	● いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない		○ する	● しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ できない	● できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		参加者も多く、学習内容も好評ですので概ね達成しています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			● 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	● 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	高齢者が学習を通じ得た知識は、計り知れないものがあります。	○ 高い	● 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		○ できる	● できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない		● ある	○ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	高齢化が進む中で、元気に活動できるようにサポートしていける教室を考えていきたいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	高齢者にとって学習機会を持つことは、大切であるので要望があるものを計画し実行していきます。					現状での継続に努めてください。				
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

PLAN	No. 40 ー 17	基本事務事業名	久勝公民館企画運営事業	事務事業名	地域ふれあい体験事業	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月15日
	部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文	
	事業区分	◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし			
		主要施策	(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供	○ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民・久勝地区内の市民						
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	体験や発表の機会を提供して、人間性豊かに過ごせるように、異年齢の人達とふれあいを深めます。					
			今年度						
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 久勝幼稚園児親子ふれあい田植え体験事業							
		② 久勝幼稚園児親子ふれあい稲刈り体験事業							
		③ 久勝幼稚園児と高齢者との世代間ふれあい交流会							
		④							
		⑤							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
	幼稚園児親子ふれあい田植え体験参加者数	1回　40人	人	目標	60	50	40	
				実績	46	40		
	幼稚園児親子ふれあい稲刈り体験参加者数	1回　40人	人	目標	60	50	40	
				実績	46	40		
	幼稚園児と高齢者との世代間ふれあい交流会参加者数	1回　70人	人	目標	80	80	70	
				実績	58	60		

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		90 千円		76 千円		77 千円	
	計(A)		90 千円		76 千円		77 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.450 人	810 千円	0.450 人	810 千円	0.450 人	810 千円	
全体事業費(A＋B)			900 千円		886 千円		887 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	少子・高齢化・核家族化している現在、農業体験・世代間ふれあい交流会等、多数の異ねんれいの人達とふれあうことは、人間形成に不可欠です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	保護者の参加者も多く田植え等体験を通してふれあい、自然を知り食の安全・安心の為、日々頑張っている人達を見ることは、幼児教育に有効です。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		参加者も多く家庭では体験できない田植え・稲刈り等親子で楽しんでおり事業目的は達成していると思います。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	事業費に対し、参加者も多く効果は十分出ていると思います。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		◉ ある	○ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	ふれあい交流の際、高齢者に対して幼稚園児が年々少なくなってきているのが気にかかります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 各種団体との連携をとり、今後も参加しやすい企画運営に努めてください。				
改革案と実行計画	効率よく運営していくための企画立案を行います。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	―	18	基本事務事業名	久勝公民館企画運営事業	事務事業名	久勝高齢者教室	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文		

PLAN

事業区分			事業運営方法	
◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他	☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画		実施計画	事業の開始・終了
基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり		
基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年 ☑ 期間設定なし
主要施策	(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供	○ 2 非該当	根拠法令等：社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)	久勝地区高齢者・市民	
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	いきいきと、又健やかに暮らせるように、教養・親睦・趣味等生涯学習の場の提供に努めます。
	今年度	学習を通じて、生活文化の向上ができるよう取り組みを図ります。

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 久勝高齢者教室・お誕生会
② 久勝高齢者教室・幼稚園児との世代間ふれあい交流会
③ 久勝高齢者教室手芸教室
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
高齢者教室 お誕生会参加者数	1回　50人	人	目標	60	60	50	
			実績	58	0		
高齢者教室 世代間交流会参加者数	1回　50人	人	目標	60	60	50	
			実績	54	60		
高齢者教室 手芸講座参加者数	8人×12回	人	目標	120	120	96	
			実績	118	90		

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	58 千円	60 千円	68 千円	
	計(A)	58 千円	60 千円	68 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員	公民館指導員	公民館指導員	
	臨時・嘱託工数・経費	0.200 人　360 千円	0.200 人　360 千円	0.200 人　360 千円	
全体事業費(A＋B)		418 千円	420 千円	428 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	高齢者が毎日元気に過ごせるように参加者のニーズ把握と身近な学習の場として必要です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	高齢者の身近な所での活動なので参加者も多く、健康等の講演会は非常に関心が高いです。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		お誕生会・研修会・手芸・園児とのふれあい交流会等参加率も良く十分達成しています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	事業費からも見ても参加者数から比較しても効率性は高いです。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		◉ ある	○ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	経費削減の面から、ますます高齢化している現状から、誰もが身近な場所で学習する場の提供は、高齢者のいきがい、健康増進の面からも現状維持が好ましいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 活動の支援と自主運営の指導を行ってください。				
改革案と実行計画	高齢者の生活に張りと潤いを与える為、学習機会の提供を続ける必要があります。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

PLAN	No. 40 ー 19	基本事務事業名	久勝公民館生活文化振興事業	事務事業名	各種団体の育成	公的関与	9	シート作成日	平成29年6月15日
	部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文	

事業区分	◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	□ 1 直営　□ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		□ 2 一部委託　☑ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり	実施計画	事業の開始・終了	
	基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	○ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(6)関係団体の育成	◉ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	市の行事に積極的に参加する等、元気に生活に張りと潤いをもたせ健康で明るい生活を送り、自主的活動ができる補助をします。
		今年度	自主的活動ができるよう援助を行います。

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 久勝老人クラブ
	② 久勝運転者会
	③ 久勝婦人会
	④
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
	老人クラブ参加者	総会30人・体育大会35人	人	目標	40	40	40	
				実績	38	38		
	サークル活動	240人×48回	人	目標	17000	15000	15000	
				実績	11470	12000		
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費
				目	3	公民館費			

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		0 千円		0 千円		0 千円	
	計(A)		0 千円		0 千円		0 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.150 人	270 千円	0.150 人	270 千円	0.150 人	270 千円	
全体事業費(A＋B)			270 千円		270 千円		270 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	高齢者が毎日元気に過ごせるように参加者のニーズ把握と身近な学習の場として必要です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	高齢者の身近な所での活動なので参加者も多く、健康等の講演会は非常に関心が高いです。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		お誕生会・研修会・手芸・園児とのふれあい交流会等参加率も良く十分達成しています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	事業費からも見ても参加者数から比較しても効率性は高いです。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		◉ ある	○ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	経費削減の面から、ますます高齢化している現状から、誰もが身近な場所で学習する場の提供は、高齢者のいきがい、健康増進の面からも現状維持が好ましいです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 各種団体との連携をとり、今後も参加しやすい企画運営に心がけください。				
改革案と実行計画	高齢者の生活に張りと潤いを与える為、学習機会の提供を続ける必要があります。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

PLAN	No. 40 ー 20	基本事務事業名	久勝公民館施設管理事業	事務事業名	公民館施設管理事業	公的関与	9	シート作成日	平成29年6月15日
	部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文	
	事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	◉ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	○ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし			
		主要施策	(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化	◉ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民						
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	地域生涯学習の拠点として、利用者が安全で快適に活動できるように維持管理を図ります。					
			今年度						
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 日常の公民館貸出の連絡調整							
		② 夜間・休日・祭日の貸出の連絡調整							
		③ 電気の保安業務・消防設備の点検業務							
		④ 浄化槽の清掃点検業務							
		⑤ 公民館の全館清掃業務							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
	開館日数	359日	日	目標	359	359	359	
				実績	359	359		
	各講座・クラブ活動団体数	コーラス外18クラブ	クラブ数	目標	20	20	20	
				実績	19	19		
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	67 千円	66 千円	80 千円	
	一般財源	2,634 千円	3,007 千円	2,899 千円	
	計(A)	2,701 千円	3,073 千円	2,979 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員	公民館指導員	公民館指導員	
	臨時・嘱託工数・経費	0.280 人　504 千円	0.280 人　504 千円	0.280 人　504 千円	
全体事業費(A＋B)		3,205 千円	3,577 千円	3,483 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	市が実施しなくては、外に実施する団体はないと思います。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	各種団体、クラブの自主事業は活発であり有効性は高いです。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		利用者も多く十分達成しています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	全体で同じ施設をまとめて契約し、経費面での節約、利用率も高く、効率性は高いです。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		◉ ある	○ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	公民館の維持管理に多くの費用が要りますが、節約して運営していきたいと思います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 合理的・効率的な運営、また、施設の長寿命化に向けた維持管理を目指した取組を進めてください。				
改革案と実行計画	経費を削減するために冷暖房を適切に使用し、必要のない照明等を節約します。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

PLAN	No. 40 ー 21	基本事務事業名	伊沢公民館企画運営事業	事務事業名	阿波女性セミナー	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月15日
	部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文	
	事業区分	◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし			
		主要施策	(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供	○ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市在住の女性						
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	女性としての知識や教養を高め心身とともに健康的で明るい地域づくりを目的とします。					
			今年度						
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 年6回(6月～2月)開催							
		② 県内視察研修(ソバ打ち体験・防災体験)							
		③ 料理教室(野菜ソムリエ)							
		④ 脳トレ身体いきいき教室							
		⑤ 社会保障とマイナンバー							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
	参加人数	1回25人×6回	人	目標	300	200	150	
				実績	199	135		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	159 千円	89 千円	169 千円	
	計(A)	159 千円	89 千円	169 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員	公民館指導員	公民館指導員	
	臨時・嘱託工数・経費	0.330 人　594 千円	0.330 人　594 千円	0.480 人　864 千円	
全体事業費(A＋B)		753 千円	683 千円	1,033 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	女性が共通の目的を持って、教養を高めたり健康的で明るい地域づくりをするために必要と思います。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	セミナーの事業内容が充実しているので、参加希望者も多く、参加者自らが年間事業計画等も策定し成果をあげています。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		毎回参加率も高いので、十分達成できていると思います。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	無償で講演してくださる講師を招いて経費の削減を計り、事業運営に取り組んでいるので効率性は高いと思います。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	参加希望者は、「広報あわ」で募集をしています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 活動の支援と自主運営の指導を行ってください。				
改革案と実行計画	組織の役割を決めて、事業運営を推進したらよいかと思います。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

PLAN	No. 40 ー 22	基本事務事業名	伊沢公民館生活文化振興事業	事務事業名	各種団体の育成	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月15日
	部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文	
	事業区分	◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☐ 1 直営	☐ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☑ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	○ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし			
		主要施策	(6)関係団体の育成	◉ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民						
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	市民が楽しめることを第一とし、教養・健康を高め生活文化の振興を図ります。					
			今年度	自主的活動ができるように援助を行います。					
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 阿波市グラウンド・ゴルフ協会による事業の参加							
		② 伊沢公民館の趣味・サークル団体							
		③							
		④							
		⑤							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
	市グラウンドゴルフ大会参加者数	15人×2回	人	目標	30	30	30	
				実績	34	28		
	サークル活動参加者数	24団体(600人×12回)	人	目標	7200	7200	7200	
				実績	7180	7165		
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		0 千円		0 千円		0 千円	
	計(A)		0 千円		0 千円		0 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.200 人	360 千円	0.200 人	360 千円	0.200 人	360 千円	
全体事業費(A＋B)			360 千円		360 千円		360 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	趣味クラブは熱心に活動している。又、多様化しているので育成していくことが必要です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	すべて自主運営のクラブは、熱心なので有効性があります。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		趣味クラブが効率よく館を利用し、活動も活発なので十分達成しています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	趣味クラブは、熱心に取り組んで活動しているので、効率性は高いです。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	当面は現在の活動ができるよう努める必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 活動の支援と自主運営の指導を行ってください。				
改革案と実行計画	館の利用を効率よくし、更に新しいクラブも受け入れるようにします。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	ー	23	基本事務事業名	伊沢公民館施設管理事業	事務事業名	公民館施設管理事業	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文				

PLAN

事業区分				事業運営方法	
○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援		☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	◉ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☑ 4 補助等

総合計画			実施計画	事業の開始・終了	
	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり			
	基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	○ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化	◉ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		市民
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	地域生涯学習の拠点として、利用者が安全で快適に活動できるように維持管理を図ります。
	今年度	

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 日常の公民館貸出の連絡調整
② 夜間・休日・祭日の貸出の連絡調整
③ 電気の保安業務・消防設備の点検業務
④ 浄化槽の清掃点検業務
⑤ 公民館の全館清掃業務

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
開館日数	359日	日	目標	359	359	359	
			実績	359	359		
利用団体数	24団体	クラブ数	目標	24	24	24	
			実績	24	24		
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源	45	千円	20	千円	20	千円	
	一般財源	3,171	千円	3,195	千円	3,463	千円	
	計(A)	3,216	千円	3,215	千円	3,483	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.380 人	684 千円	0.380 人	684 千円	0.430 人	774 千円	
全体事業費(A＋B)		3,900	千円	3,899	千円	4,257	千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	市が実施しなくては、外に実施する団体はないと思います。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	各種団体・クラブの自主事業は活発であり有効性は高いです。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		公民館の利用者は多く、十分達成しています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	全体で同じ施設をまとめて契約し、経費面での節約、利用率も高く、効率性は高いです。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		◉ ある	○ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

	一次評価	二次評価
当面の課題	公民館の維持管理に多くの費用が要りますが、節約して運営していきたいと思います。	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 合理的・効率的な運営、また、施設の長寿命化に向けた維持管理を目指した取組を進めてください。
改革案と実行計画	経費を削減するために冷暖房を適切に使用し、必要のない照明等を節約します。	
委員会指摘事項		

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	ー	24	基本事務事業名	林公民館企画運営事業	事務事業名	地域ふれあい体験事業	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月12日
部局名	教育委員会		課名	公民館		主務課長名	坂東　孝一			シート作成者名	長瀬　和文

PLAN

事業区分			事業運営方法	
◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他	☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画			実施計画	事業の開始・終了	
	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり			
	基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供	○ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		市民
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	花作りを通して4町住民の交流づくりを図ります。
	今年度	

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 年6回開催し、季節に応じたガーデニングの基礎(土壌・肥料)を講習や実習をします。
② 家庭で花作りをしている中で生じた疑問を講座のときに、講師より指導が受けられます。
③
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
ガーデニング参加人数	1回20人×6回	人	目標	120	120	120	
			実績	116	87		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	ガーデニング講師が、29年度から変更
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	118 千円	109 千円	60 千円	
	計(A)	118 千円	109 千円	60 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員	公民館指導員	公民館指導員	
	臨時・嘱託工数・経費	0.350 人　630 千円	0.350 人　630 千円	0.350 人　630 千円	
全体事業費(A＋B)		748 千円	739 千円	690 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	住民の教養を高めたり交流の場を図るために、必要性はあります	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	積極的に参加されていますので、成果の向上はあります。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		参加者の申込数は増え、参加率も良いので、十分達成できていると思います。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	受益者負担からすれば、効率性は高いと思います。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	参加者は、積極的に取り組んでいるのでこのまま続けられたらいいかと思います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 活動の支援と自主運営の指導を行ってください。				
改革案と実行計画	予算の減額はしないで欲しいと思います。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	―	25	基本事務事業名	林公民館企画運営事業	事務事業名	林高齢者教室	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文				

PLAN

事業区分				事業運営方法	
◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援		☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画		実施計画	事業の開始・終了
基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり		
基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年 ☑ 期間設定なし
主要施策	(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供	○ 2 非該当	根拠法令等：社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		林地区の高齢者
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	高齢者の教養の向上、健康の増進、生きがいづくりを図ります。
	今年度	

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 年3回のお誕生会を開催し、長寿をお祝いするとともに講師を招いて健康づくり等の講義を受け実践します。
② 林幼稚園児と「ふれあいクリスマス会」を開催し、交流の場を提供します。
③ 林小学校3年生と「わら細工」「竹細工」をして、文化の伝承を行います。
④ 公民館施設の清掃奉仕をします。
⑤ 一日研修を実施し、自己の見聞を広めます。

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
お誕生会	1回70人×3回	人	目標	240	210	210	
			実績	164	161		
クリスマス会	1回70人	人	目標	80	70	70	
			実績	51	48		
一日県外研修	1回50人	人	目標	60	50	50	
			実績	51	33		

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	ガーデニング講師が、29年度から変更
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源	86	千円	88	千円	90	千円	
	計(A)	86	千円	88	千円	90	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.450 人	810 千円	0.450 人	810 千円	0.450 人	810 千円	
全体事業費(A＋B)			896 千円		898 千円		900 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	自らの教養を高めたり、交流の場を図ることにより必要性が十分あると思います。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	積極的に参加できているので、成果の向上はあると思います。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		高齢者事業は、参加率がよく目標は達成できていると思います。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	受益者負担の観点からどの事業ににも対し、自己負担してもらい安い経費で運営できていると思います。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	行事の準備・進行・後始末に至るまで自主的に運営が図られています。 会計処理等ができるように指導していきたいと思います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 活動の支援と自主運営の指導を行ってください。				
改革案と実行計画	企画・立案をするための役員会等の運営を自主的にできるよう、改革していきたいと思います。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	―	26	基本事務事業名	林公民館生活文化振興事業	事務事業名	各種団体の育成	公的関与	9	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会		課名	公民館		主務課長名	坂東　孝一			シート作成者名	長瀬　和文

PLAN

事業区分			事業運営方法	
◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	☐ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他	☐ 2 一部委託	☑ 4 補助等

総合計画			実施計画	事業の開始・終了	
	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり			
	基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	○ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(6)関係団体の育成	◉ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		林地区の高齢者
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	地域における積極的な社会参加活動を支援すると共に、利用団体との連携を密にして発表の場を設けるようにします。
	今年度	自主活動ができるように援助を行います。

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 年末年始を除き、日曜日から土曜日まで24団体が定期的に利用しています。
② 子供会のレクリエーションやスポーツ少年団の合宿もあります。
③
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
林長寿クラブ参加人数	総会:70人　役員会:20人 老人体育大会:30人	人	目標	130	120	120	
			実績	108	120		
グラウンドゴルフ参加人数	月例大会:120人　その他の大会:30	人	目標	300	280	150	
			実績	240	160		
サークル活動参加団体	24団体×12回	回	目標	280	280	280	
			実績	256	265		

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員	公民館指導員	公民館指導員	
	臨時・嘱託工数・経費	0.100 人　180 千円	0.100 人　180 千円	0.100 人　180 千円	
全体事業費(A＋B)		180 千円	180 千円	180 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	実施主体がないので24団体全てが趣味クラブで熱心に利用・活動しています。	○ 少ない	● 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある		○ ない	● ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない		○ いる	● いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	自主運営で活動しているので、公民館の貸出業務は有効利用できていると思います。	○ いえない	● いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない		○ する	● しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ できない	● できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		サークル活動団体が、効率よく目標を達成できていると思います。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			● 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	● 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	利用度が非常に高いので、効率性に富んでいます。	○ 高い	● 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		● できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	各種団体の使用等、時間調整が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 活動の支援と自主運営の指導を行ってください。				
改革案と実行計画	他の公民館と連携を計りながら、充実度を高めます。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

PLAN	No. 40 ー 27	基本事務事業名	林公民館施設管理事業	事務事業名	公民館施設管理事業	公的関与	6	シート作成日	平成29年6月15日
	部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文	
	事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	◉ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☑ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(2)生涯学習の充実	○ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし			
		主要施策	(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化	◉ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市民						
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	地域生涯学習の拠点として、利用者が安全で快適に活動できるように維持管理を図ります。					
			今年度						
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 維持管理(電気、消防設備、浄化槽保守点検、清掃業務)							
		② 施設の運営(日常の公民館の貸出業務)							
		③							
		④							
		⑤							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
	開館日数	359日	日	目標	359	359	359	
				実績	359	359		
	利用団体数	舞踊外23団体	団体	目標	24	24	24	
				実績	24	24		
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	11 千円	13 千円	10 千円	
	一般財源	2,875 千円	5,397 千円	3,129 千円	
	計(A)	2,886 千円	5,410 千円	3,139 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
	臨時・嘱託職種	公民館指導員	公民館指導員	公民館指導員	
	臨時・嘱託工数・経費	0.180 人　324 千円	0.180 人　324 千円	0.180 人　324 千円	
全体事業費(A＋B)		3,210 千円	5,734 千円	3,463 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	市が実施しなくては、外に実施する団体はないと思います。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	各種団体・クラブの自主事業は活発であり有効性は高いです。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		公民館の利用者は多く、十分達成しています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	全体で同じ施設をまとめて契約し、経費面での節約、利用率も高く、効率性は高いです。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		◉ ある	○ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	公民館の維持管理に多くの費用が要りますが、節約して運営していきたいと思います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 合理的・効率的な運営、また、施設の長寿命化に向けた維持管理を目指した取組を進めてください。				
改革案と実行計画	経費を削減するために冷暖房を適切に使用し、必要のない照明等を節約します。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

PLAN	No. 40 ー 28	基本事務事業名	青少年ホーム企画運営事業	事務事業名	教室クラブ活動事業	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月15日
	部局名	教育委員会	課名	公民館	主務課長名	坂東　孝一	シート作成者名	長瀬　和文	

事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営 / ☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	◉ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託 / ☑ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり	実施計画	事業の開始・終了	
	基本計画(施策)	(5)青少年の健全育成	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(4)青少年の体験・交流活動の充実	○ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市内に居住する青少年及び市内の事業に勤務する青少年
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	勤労青少年の日常に必要な援助を与え、その福祉の増進を図ります。
		今年度	

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 各種スポーツクラブ(バレーボール・バトミントン・卓球・硬式テニス・ボウリング)
	② 各種文化活動(生花講座・茶道講座・料理教室・異文化交流)
	③ ボランティア活動(市内カーブミラー磨き・ホーム周辺除草作業・ホーム清掃)
	④ カーニバル活動(Passion　Of Youthというお祭りの企画、運営)
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
	各種スポーツクラブ活動参加者数	1ケ月150人×12カ月	人	目標	2400	2400	1800	
				実績	1850	1700		
	教室、講座。参加人数	1ケ月30人×12カ月	人	目標	300	300	300	
				実績	270	270		
	ボランティア活動参加者数	20人×2回	人	目標	40	40	40	
				実績	30	30		

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費
				目	3	公民館費			

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源	395	千円	383	千円	418	千円	
	計(A)	395	千円	383	千円	418	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	勤労青少年ホーム指導員		勤労青少年ホーム指導員		勤労青少年ホーム指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.720 人	1,296 千円	0.720 人	1,296 千円	0.720 人	1,296 千円	
全体事業費(A＋B)			1,691 千円		1,679 千円		1,714 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	施設は、市内には1箇所しかなく、地域に根ざした若者の育成の場としてのニーズは高いといえます。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	勤労青少年の学習の場、情報提供に努めています。また少子化・晩婚化に歯止めをかけるべく若者が集う場としての役割を担っており有効性は高いといえます。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		参加者には好評を得ています。若者同士の口こみで利用者も増加傾向にあり、目標に対して概ね達成しています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	働く青少年のための余暇活動のみならずニート対策等若者を取り巻く問題に対応できます。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	経費削減の状況下でありますが、ホームの利用者は増加しており必要性は高く、勤労青少年の福祉増進に関する施設として1つしかなく、現状の人員、予算等で実施していくべきと考えます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 活動の支援と自主運営の指導を行ってください。				
改革案と実行計画	現状の活動内容、事業活動に加え、近年問題化しているニート対策など勤労青少年を取り巻く問題にも取り組む必要があります。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

No.	40	ー	29	基本事務事業名	青少年ホーム施設管理事業	事務事業名	施設管理事業	公的関与	8	シート作成日	平成29年6月15日
部局名	教育委員会		課名	公民館		主務課長名	坂東　孝一			シート作成者名	長瀬　和文

PLAN

事業区分				事業運営方法	
○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援		☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	◉ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画			実施計画	事業の開始・終了	
	基本構想(政策)	1．人が輝くまちづくり			
	基本計画(施策)	(5)青少年の健全育成	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(4)青少年の体験・交流活動の充実	○ 2 非該当	根拠法令等	社会教育法　阿波市公民館条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		市内に居住する青少年及び市内に事業所に勤務する青少年
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	勤労青少年の日常の援助と福祉の増進を図るため、一般教養講習会、グループ活動等効率的に行くえる維持管理を図ります。
	今年度	

事業の活動内容
具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
① 施設運営(ホームの貸出業務)夜間の利用も含む
② 維持管理業務(防火設備・電気の保安・浄化槽設備点検・清掃業務)
③
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標
	施設の維持管理　開館日数	年間241日	日	目標	250	250	250	
				実績	240	240		
				目標			300	
				実績				
				目標			40	
				実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	公民館費

		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源	1,451	千円	2,588	千円	1,321	千円	
	計(A)	1,451	千円	2,588	千円	1,321	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時・嘱託職種	勤労青少年ホーム指導員		勤労青少年ホーム指導員		勤労青少年ホーム指導員		
	臨時・嘱託工数・経費	0.300 人	540 千円	0.360 人	648 千円	0.360 人	648 千円	
全体事業費(A＋B)			1,991 千円		3,236 千円		1,969 千円	

阿波市全庁評価シート　平成28年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	利用者も増加傾向にあります。ニーズも高く必要性も高いです。活動施設としては、唯一のものであります。勤労青少年の日常生活に必要な援助を行う施設として重要です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	各教室、クラブ、同好会、講座、ボランティア活動、各種研修会等が有効に利用しています。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		一般教養としての教室、グループ活動、クラブ等の事業が計画どおり実施され、参加者においても目標を達成しています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	経済的には年々減少しています。利用団体も多く効率性が高いです。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		◉ ある	○ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	施設の設備等老朽化しています。利用を促進するため、時代のニーズにあった施設改善をする必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 合理的・効率的な運営、また、施設の長寿命化に向けた維持管理を目指した取組を進めてください。				
改革案と実行計画	施設の修繕等を計画的に行う必要があります。									
委員会指摘事項										